



入賞作品

## 捨てればごみ

昨年8月、テレビ番組の「まちの修理屋さん」特集でバッグの修理店「手づくりバッグのにしき家」が紹介されているのを見て、捨てるにしのびず、押入れに放置していたバッグを思い出した。それは、知人が趣味でつくった一枚皮のバッグ。色あせ、周囲のかがり縫いはところどころ擦り切れ、取っ手はよれて、全体は波打っている。しかし、長年仕事で重宝した愛着のあるバッグ。

機会を得て、にしき家を訪ねた。差し出すのもためられるようなバッグだが、お店の方は快く引き受けてくださった。

できあがったバッグは、見違えるようになっていた。さすが熟練の腕という驚きと喜び。裏布と内ポケットがつき、かがり縫い、取っ手、口が補強されている。全体の配色もすばらしい。「ごみが物に変身」。

どれだけの手間がかかったでしょうか。使う人の立場にたった、職人の熱い技、心意気、愛情、すべてに感謝したい。

「ごみにするか、生かすか」は個人の判断。

「もったいない」を形にする「まちの修理屋さん」の利用を促進し、みんなでものを大事にしたい。

宮崎県 湯浅満千子さん

(修理店) 手づくりバッグのにしき家